

### お知らせ：1年「むかしあそび」の中止

これまで、長年にわたり地域の皆様方に講師としてお世話になりました1年生活科「むかしあそび」は、時代の変化に伴い学習内容を見直しし取りやめとなりました。これまで講師としてご協力いただきました皆様方にはたいへんありがとうございました。

今日、教育界では幼児期の教育と小学校教育との連携が重要視されています。そのため本校でも1年生の「生活科」ではこのことに関連した学習を展開してまいります。

どうぞこの件につきましてご理解いただくとともに、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 学校・地域・PTAの活動

#### 【学校ファームの種植え、苗植え 始まる：針ヶ谷小 PTA】

9月19日、学校ファームではいよいよ作物の種や苗をうねに植えました。今回も保護者や地域の皆様のご協力を得て実施いたしました。発酵菌で再生された土は黒々としてふわふわと柔らかい栄養豊富な土に生まれ変わっていました。このような「健康な土」には農薬は使用せず、病虫害にも強く生育のよい作物が期待できます。

↓ 栄養豊富な畝に種  
や苗を植えていきます



↓ 講師の山田さん。綿などの布が土壌菌のえさとなり土の栄養を保っていることを教えてください



### 【常に自分の身を守るための 交通安全教室：1年】

10月7日、1年生の交通安全教室を行いました。9月10月は学校生活に慣れ気がゆるむ時期で交通事故が増加する傾向があるそうです。1年生は道路の歩き方、特に道路の渡り方を下記のように学びました。

- ① 右手を上げ「右」を確認し、左手で「右よし」と指差し呼称
- ② 引き続き「左」を確認し、「左よし」と指差し呼称
- ③ 再度①を行い、「左右が安全なら」右手を上げて道路を横断する



↓ 横断歩道を渡る練習



↓ 今日の下校の様子は・・・



### 「針ヶ谷ふれあい子ども教室」の活動

10月の「土曜チャレンジスクール」は2週にわたって《音をさがして、感じて、音をつくってみよう!》です。1週目は「音探検」。身の回りからいろいろな音を感じ取り、2週目は「音作り」。感じ取った音を音楽にしてみます。

↓ 自然の中で音を感じ取り、↓ みんなで「雨の音」  
「サウンドマップ」を作成 をつくり音楽にします



11月8日(土)の「ふれあいまつり」に、土曜チャレンジスクールは「リサイクルおもちや交換会」を実施します。SDGsの取り組みの一例です。ぜひご来場ください。

# ★ 地域のチカラはムゲンの可能性 ★

市内全ての学校に導入しているコミュニティ・スクールでは、学校・家庭・地域が連携して、未来の創り手である子どもたちを支えています。コミュニティ・スクールの話合いによって生まれた取組をご紹介します。

## 浦和別所小学校 朝のひとときに寄りそう、地域のあたたかなまなざし

浦和別所小学校では学校運営協議会の話合いの中で、「朝の時間に子どもたちをサポートできないか」という相談が学校からありました。

その結果、保護者や地域の方が、登校してきた子どもたちの靴の履き替えを手伝ったり、授業の準備をサポートしたりする「モーニングサポーター」の活動が始まりました。

この活動のおかげで、子どもたちは落ち着いた気持ちで1時間目の授業に入ることができるようになりました。



モーニングサポーターの声かけ



校長

地域の方と子どもたちが顔見知りになることで、「地域に応援してくれる人がいる」という安心感が生まれ、よい学びにつながっています。また、教職員への支援にもつながり、大変助かっています。

## 東宮下小学校 地域の大人たちが先生に！広がる体験の学び



地域のひとと一緒に田植え

東宮下小学校の学校運営協議会では、学校から「子どもたちの学びをさらに深めたい」という相談をした結果、学校と地域の大人たちとが力を合わせて、さまざまな体験活動を進めることになりました。

地域の方の指導で田植えや稲刈りに挑戦したり、収穫したお米で保護者や地域の方が子どもたちと一緒ににおにぎりを作って食べたりしています。また、高学年の子どもたちは地域の企業や農家の方に教わりながら、野菜の栽培から販売まで行う貴重な体験をしています。

地域の大人たちが「先生」となって子どもたちに教えてくれる体験活動は、学習の幅を広げるだけでなく、子どもたちにとって大きな励みになっています。活動を通じて、学校と地域とのつながりもいっそう深まりました。



校長

## 研究協力校 レポート①

## みんなで育てる、地域の未来の創り手たち

与野西北小学校と八王子中学校は「小中学校の9年間を通じて、自分の考えを持ち、主体的に行動できる子どもの育成」をテーマとする研究協力校です。学校・家庭・地域の役割を、子どもの成長の段階に合わせて明確にし、地域の大人たちが知恵を出し合い、実践と研究を重ねています。

研究の成果は、令和8年1月開催の「コミュニティ・スクールシンポジウム」で発表されます。



学校運営協議会での熟議